

令和元年度 第2回 成田市総合計画審議会会議録

1 開催日時

令和元年8月28日（水） 午前10時00分～午前11時15分

2 開催場所

成田市役所本庁舎3階 第二応接室（成田市花崎町760番地）

3 出席者

（委員）

野平会長、山崎副会長、宮委員、末崎委員、竹林委員、金崎委員

石井委員、浅野委員、大野委員、下田委員、一鍬田委員

（事務局）

企画政策部 郡司部長

企画政策課 米本課長、宮田課長補佐、平野主幹、青菜副主査、中村主任主事

4 議事（要旨）

（1）総合計画「NARITA みらいプラン」第2期基本計画の策定について

- ・「NARITA みらいプラン」における第1期基本計画が、令和元年度に最終年度を迎えることから、令和2年度から始まる第2期基本計画の策定にあたり、第2期基本計画（素案）について説明を行った。

5 質疑等

□施策4-2-2「道路ネットワークと交通環境を整える」の施策の方向として、コミュニティバスの運行の改善に努めると記載があるが、現状で運行計画の見直しなどはあるか。

→細かい運行ルートの見直しは毎年行っているが、現在、コミュニティバスを含めた市内全域に係る地域公共交通網形成計画を策定し、全体的な見直しを行っている。また、バス事業者とも毎年協議しながら改善に努めている。

□今回、基本計画の第1期から第2期への見直しということで、市としても成田空港の機能拡充や国際医療福祉大学の開学、外国人の受け入れ体制の整備など、環境が大きく変わってきており、次期計画の主な焦点となるものだと考えるが、この他に市として力を入れている取組みはあるか。

→委員ご指摘のとおり、今回の第2期基本計画の策定においては、成田空港の更なる機能強化、大学附属病院の開院、新生成田市場の整備などの他、今後を見据えた子育て支援の充実や、外国人との多文化共生などが焦点となる。

□施策4-2-2「道路ネットワークと交通環境を整える」の中で、(仮称)土屋駅及び(仮称)吉倉駅の実現に向けた取組みを進めると記載があるが進捗は。

→(仮称)土屋駅については、成田湯川駅と合わせて鉄道事業者へ要望を行っていたが、鉄道事業者の採算や構造的な問題から難しい状況ではある。(仮称)吉倉駅については、空港の更なる機能強化に伴い、空港内従業員が3万人程度増えることが見込まれることから、その受け皿として吉倉地区に居住環境を整備しようというものである。また、同地区に大学病院の開院を予定していることから、病院との連携を見据えたいうえで検討を進めている。

□外国人の方がアパートを借りる際、文化や生活スタイルの違いから日本の大家が受け入れを行わないことが多々あると聞いている。また、大家や近隣住民とのトラブルが発生することが多く、不動産事業者が外国人に物件を紹介しながらないケースもあるが、この問題について市はどのような対応を考えているか。

→市ではこの2年間ほどで外国人が2千人程増加しており、この度の改正入管法の施行によりさらに増加が見込まれることから、外国人の方の生活支援の相談窓口を開設する予定であり、その中で柔軟に対応していきたいと考えている。

□高齢者福祉の分野では、2025年問題というものが取り上げられており、団塊の世代が2025年を目途に後期高齢者に達することで、社会保障費の急増が懸念されている。また、ニュータウン地区では高齢者率が増加しており、介護が必要な方が増えていることから、地域包括支援センターへの月々の相談件数は300件を超えているような状況である。今回は総合計画の基本計画の見直しであるため、具体的な事業に係る細かい内容は盛り込む必要はないと思うが、別途検討は必要と考える。

→今回は基本計画についてご説明させていただいているが、構造上その下に実施計画というより具体的な事業計画があり、そちらについては次回の審議会の際にご審議いただくこととなるが、今回であれば、成田地区のみに配置していた第2層の生活支援コーディネーターをニュータウン地区にも配置することを検討している。

□施策 3-3-1「国際理解を促進する」、3-3-2「国際交流を推進する」について、今年
はタイ国と共同でイベントを計画しており、両国の文化を伝えることを目的としてい
る。外国人向けの相談窓口を設置するとのことだが、対応する言語を検討していただ
きたい。成田市の外国人の内訳をみると、英語圏以外の出身者が多いため、多言語化
が必要である。

→総合窓口では英語だけではなく多言語での対応を検討しているほか、翻訳機を設置す
ることで柔軟に対応できる体制を整える予定である。また、今回の第2期基本計画の
策定に係る市民ワークショップを開催した際には外国人の方の参加も呼び掛けており、
意見の集約に努めている。

□市内には狭い道路が存在し歩行者が安全に歩行できない箇所が存在する。また、観
光地の場合には観光客にとって悪い景観にも見られかねない。参道内へのバス等の自
動車の通行を全面的に止めることも含め道路環境の整備を検討していただきたい。

→市内の道路幅の拡充が難しい箇所について、対応が必要であることは市でも認識して
おり、参道については平成30年度までに約9割がセットバック済みである。また、
参道内の道路は車道になるため全面的な交通規制は難しいが、警察などとも協力しな
がら、引き続き対応を検討していく。

□10月から保育料無償化が始まるが、保育園と幼稚園という分け方ではなく、年齢で
分けるなど境目の考え方を考える必要があるとともに、これまでとは違う運営の方法
が必要であると考え。また、財政負担が増えると予想されるため、総合的に検討を
進めていただくとともに、若い世代や子育て家庭の負担を軽減できるよう環境整備に
努めていただきたい。

→第2期基本計画の施策の内容において、委員よりご指摘の点について検討を進めてい
るところである。また、現在策定している「第2期成田市子ども・子育て支援事業計
画」の中でも検討を行っている。

6 傍聴

3名